



絆通信

伊賀市議会議員
木津直樹活動報告
 〒518-1322 伊賀市玉瀧3486
 TEL42-1011 FAX42-0550
 E-MAIL kizuna@ict.ne.jp
 2014・10月号

みなさんこんにちは、日頃は大変お世話になり誠にありがとうございます。
 本年度から絆通信は2ヶ月に1号のペースを心がけて発刊しています。前号までは阿山地区のみ配布でしたが、10月号は伊賀市全域に折込配布させていただきます。なにぶん手作り新聞で読みにくいとはおもいますが、木津なおきの活動や考えをご理解いただければ幸いです。

伊賀市本庁舎は四十九町に決定!!

長いトンネルを抜け出した感じである。住民投票にまで発展した庁舎位置の問題がジャスト3分の2賛成多数で四十九町の県庁舎隣接地に決定した。前市長の時代に丸之内の現在地で建替え工事が着々と行われていたが新市長が政策変更し2.5km南に伊賀市の行政機能を移動するのである。9月議会で位置決定に伴い移転に関わる用地測量費や庁舎建設の基本設計費を合わせて約6600万円が予算化された。また、農地と県所有地の土地購入費用として3億6750万円の債務負担行為も盛り込まれた。

投票率42, 51% 残念!あと5, 696人の投票があれば!

青山地区での街宣活動のようす↓

伊賀市の住民投票には50%以上の投票率がなければ開票しない基本条例が制定されているので「住民投票を成立させる会」を立ち上げ街宣活動で投票を訴えたが不成立となった。ご協力頂いた同僚議員やご近所はじめ市内各地の皆さんには大変お騒がせしました。



嶋岡議員 中谷議員 森川議員

9月定例会一般質問

一般質問は議案とは関係なく市の課題や市政全般について執行者に直接問うことができ、議員の考え方や意見など自由に討議できる場でもある。

伊賀市議会は制限時間を45分と定め、一問一答で市民にわかりやすい質問と答弁をこころがけている。



①分煙社会について(議会だより11月1日号に掲載)

広報いが市7月1日号の表紙が気になっていた。やはり私だけではなく周りの人からもいろんな意見をいただいた。私は煙草を吸わないが、以前は超ヘビースモーカーだったので双方の気持ちが良くわかる。昨今は愛煙者を取り巻く環境は非常に厳しくなっているが、煙草は嗜好品であるのでイコール悪ではなく喫煙権と嫌煙権を行政もよく理解してほしい。また、煙草には市たばこ税が課税されていて平成25年度の市たばこ税は7億3173万2597円が収められ一般財源の貴重な原資となっているので市でもっとPRすべきだ。ちなみに市内のたばこ屋さんで430円の煙草を買くと105円24銭が伊賀市に入ります。

②鳥獣被害対策について

鳥獣被害対策について何度も質問しているが、今回は鹿や猪が及ぼす農林業への被害と猿が及ぼす生活環境への被害を分けて質問した。まず鹿や猪の被害では侵入防止柵を設置して早くから取り組んでいた地域はメンテナンスの時期にきているので補助をすること。また特に損傷の激しい箇所は板などで視界を遮るのが有効との声に対応すること。米価が下がる中で、これ以上鳥獣被害にお金と時間を費やすようでは農業者の生産意欲も落ちてくる。当然ながら耕作放棄地が増えてくれば地域の疲弊も加速する。鳥獣被害は中山間地域にとって深刻な問題だ。また猿の被害は民家やその周辺に多く、楽しみに作っている畑が荒らされる、家屋が傷む、洗濯物が干せない、怖くて外出できないなどがあり生活困難や精神的ダメージもある。もはや農林部署だけの対応ではなく生活環境部署でも対応をしていくなど縦割り行政の改革意見を述べた。市街地や住宅地でも被害が多発していますが小動物であれば捕獲檻の貸し出しを行っていますので市役所にご相談ください。

I 川上ダム II 庁舎整備 III 市民病院

伊賀市三大問題を解決すべき順番に並べた。

まずI川上ダム本体工事は政権交代による政策変更で一時凍結していたが、地元議会として治水(災害対策)と利水(水源確保)の重要性を各方面に働きかけた結果、国や関係機関のダム検証においてダムの必要性が認められ継続することになった。9月議会では建設負担金8665万9000円の債務負担行為を設定した。また次のII庁舎整備にも上記のようこれも予算化された。

政策において一部でも予算がつくということは、その事業が始動した事を意味する。関連した事業は沢山あるがIとIIには一定の道筋がついたということだ。

さあ残すはIII上野総合市民病院だが、とてもこのスペースでは書き切れないので次号に詳しく書きたい。

九月議会報告
 ○頑張ろう! 〽さるびの温泉 指定管理料が年間約5600万円に!
 伊賀市は指定管理料年間約1800万円で公社に運営を任しているが、人件費も払えないほどの資金不足になったので約3800万円上乗した
 ○建設工事費が高騰↑
 河合小学校の新校舎建設工事に関わり労務費が昨年度より23, 6%
 鉄筋価格は18, 8%上昇したので建設工事費を約1500万円増額した

③伊賀市交通計画について

来年度から県の補助金がなくなるため抜本的見直しの最終年度であるが、利用者や運転手の方々の意見を取り入れるよう提言した。高齢者のドライバーがいずれ運転免許証を返納されると交通弱者となり通院や買物の移動手段も限られてくる。高齢化社会のなかで公共交通の整備は喫緊の課題である。

〈木津直樹〉 家族：妻、長男、長女、次女、次男
 昭和34年(1959)10月30日生まれ 54歳
 〈主な経歴〉
 昭和53年(1978)三重県立上野商業高等学校 卒業
 昭和53年(1978)(株)北三重ナショナル家電販売(現パナソニックCMC)
 昭和60年(1985)LPガス・雑貨販売業はなや従事
 平成15年(2003)阿山町議会議員選挙 1期目当選
 平成17年(2005)伊賀市議会議員選挙 2期目当選
 平成19年度(2007)産業経済常任委員長
 平成25年(2013)伊賀市議会議員選挙 3期目当選
 平成26年度(2014)教育民生常任委員長
 所属党派：自民爽風クラブ 川上ダムの早期完成を推進する議員連盟

〈主な活動歴〉
 阿山町消防団第三分団長
 阿山町商工会青年部長
 阿山中学校PTA・同窓会長
 (社)上野青年会議所理事長
 (社)三重県エルピーガス協会青年部長
 (社)三重県エルピーガス協会伊賀支部長
 伊賀小売酒販組合理事
 自民党三重県連青年局常任幹事
 自民党三重県連政治塾1期2期終了
 川崎二郎後援会阿山青鵬会長
 骨髄バンクドナー登録

〈現役職〉
 自民党阿山支部幹事長
 居住介護支援施設役員
 伊賀白鳳高等学校同窓会監査
 上野東ロータリークラブ会員
 TEAM-絆-MIE代表
 〈主なボランティア活動歴〉
 JCネパール小学校建設支援
 RCパプアニューギニア小学校教育支援
 阪神淡路大震災 神戸市 西宮市
 東日本大震災 気仙沼市 南三陸町
 紀伊半島大水害 紀宝町